ANA VISION 2023

第78回 定時株主総会決議ご通知　第73期のご報告

（2022年4月1日～2023年3月31日）

■個々を尊重し、生き生きと働ける企業グループへ

証券コード 9202

サントロペ（フランス・コートダジュール）

株　主　各　位

2023年6月27日

東京都港区東新橋一丁目5番2号
ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長　芝田 浩二

第78回 定時株主総会決議ご通知

拝啓　平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本日開催の当社第78回定時株主総会におきまして、下記の通り報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

報告事項

1. 第73期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第73期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類報告の件

本件は上記報告事項の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案　取締役11名選任の件

本件は原案通り承認可決され、取締役に片野坂 真哉、平子 裕志、芝田 浩二、福澤 一郎、平澤 寿一、梶田 恵美子、井上 慎一、山本 亜土、小林 いずみ、勝 栄二郎、峰岸 真澄の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第2号議案　監査役2名選任の件

本件は原案通り承認可決され、監査役に加納 望、三橋 友紀子の両氏が選任され、就任いたしました。

以上

ANA HOLDINGS Data

株式の状況

2023年3月31日現在

発行可能株式総数	10億2,000万株
発行済株式総数	4億8,429万3,561株
株主数	789,350名（2022年9月末より6,553名増）
資本金	4,676億195万4,660円

2023年6月27日現在

代表取締役会長	片野坂 真哉
取締役副会長	平子 裕志
代表取締役社長	芝田 浩二
代表取締役 副社長執行役員	福澤 一郎
取締役 常務執行役員	平澤 寿一
	梶田 恵美子
取締役	井上 慎一
	山本 亜土（社外取締役）
	小林 いずみ（社外取締役）
	勝 栄二郎（社外取締役）
	峰岸 真澄（社外取締役）

常勤監査役	加納 望（社外監査役）		
	三浦 明彦		
	満倉 達彦		
監査役	小川 英治（社外監査役）		
	三橋 友紀子（社外監査役）		
上席執行役員	直木 敬陽	宮田 千夏子	中堀 公博
	宮川 純一郎	種家 純	塩見 敦与
	高柳 直明	米谷 宏行	原 雄三
執行役員	濵田 秀樹	松下 正	加藤 恭子
	吉田 秀和	津田 佳明	

株主・投資家の皆様へ

黒字化達成を転換点として、成長軌道へ回帰します

ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長
芝田 浩二

2023年6月

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年３月期は、各国の入国規制や国内の行動制限が緩和され、旅客需要は着実に回復してまいりました。国際線旅客事業では、増加する訪日・ビジネス需要の取り込みを強化し大幅な増収となりました。国内線旅客事業でも、大型機の稼働増加と創業70周年記念セールによる需要喚起策等が奏功し、収入を大きく伸ばしました。また、国際線貨物事業ではコロナ前と比べ約３倍の収入を確保し、LCC事業も急回復するレジャー需要を取り込みました。

費用面では、事業規模拡大に伴う運航関連費用は増加しましたが、コストマネジメントの徹底により、費用の増加を抑制しました。これらの結果、３期ぶりに黒字転換を果たしましたが、当期の期末配当金につきましては、財務基盤を回復・強化することが喫緊の課題であることから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。早期の復配に向け全力を尽くしてまいります。

2024年３月期は、「2023～2025年度ANAグループ中期経営戦略」で掲げる中期経営目標達成のための大きな１年となります。おかげさまで、４、５月は前年度を上回る旅客輸送実績となりました。今後も安全の堅持を大前提に、着実に目標を達成し、成長軌道へ回帰してまいります。また、リニューアルしたANA Payをはじめ、非航空事業も加速していきます。そして、新・経営ビジョン「ワクワクで満たされる世界を」の実現を通じて社会に貢献し、企業価値の向上を目指してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、当社グループに変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

着実に回復する旅客需要を取り込み、3期ぶりに黒字に転換

Ⓐ売上高、営業費用
行動制限・入国規制の緩和が進み、旅客需要が着実に回復し、売上高は1兆7,074億円（前期比67%増）に増加。営業費用はコスト削減策（事業構造改革プラン）を継続して実施し、1兆5,874億円（前期比33%増）に抑制。

Ⓑ営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益
営業利益は1,200億円、経常利益は1,118億円、親会社株主に帰属する当期純利益は894億円となり、3期ぶりに黒字に転換。

Ⓒ資産
航空機を売却した一方で、現金及び預金等の増加により前期末から1,482億円増加。

Ⓓ負債、有利子負債残高
負債は、航空券の事前販売額拡大に伴う契約負債の増加等により、前期末から813億円増加。有利子負債は、社債の償還や借入金の返済等により、前期末から1,421億円減少し、1兆6,079億円に。

Ⓔ自己資本、自己資本比率
当期純利益の計上で利益剰余金が改善し、自己資本は8,624億円に増加。自己資本比率は25.6%に。

Ⓕ設備投資
航空機等の設備投資の抑制を継続し1,168億円に。

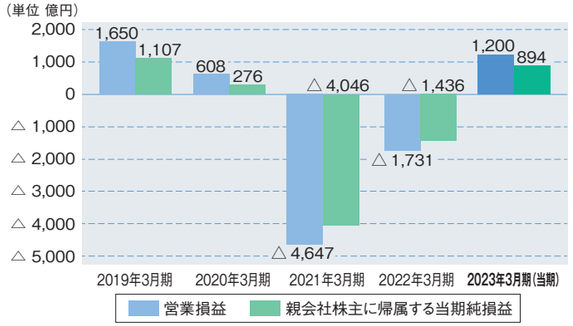
●連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（単位 億円）

	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
【連結損益計算書】				
Ⓐ売上高	10,203	17,074	6,871	67.3
Ⓐ営業費用	11,934	15,874	3,940	33.0
営業損益	△ 1,731	1,200	2,931	—
営業外収益	405	285	△ 119	△ 29.5
営業外費用	523	368	△ 155	△ 29.7
経常損益	△ 1,849	1,118	2,967	—
特別利益	283	35	△ 247	△ 87.4
Ⓑ特別損失	187	10	△ 177	△ 94.4
税金等調整前当期純損益	△ 1,753	1,143	2,897	—
法人税等	△ 331	242	573	—
当期純損益	△ 1,422	900	2,323	—
非支配株主に帰属する当期純損益	13	6	△ 7	△ 55.3
親会社株主に帰属する当期純損益	△ 1,436	894	2,331	—
(EBITDA)※1	(△257)	(2,643)	(2,901)	(—)
【連結包括利益計算書】				
当期純損益	△ 1,422	900	2,323	—
その他の包括損益	484	△ 268	△ 753	—
包括損益	△ 937	632	1,570	—

※1 EBITDA＝営業利益＋減価償却費（休止機材費に計上した減価償却費を含まない）

●営業損益、親会社株主に帰属する当期純損益



●連結キャッシュ・フロー計算書

（単位 億円）

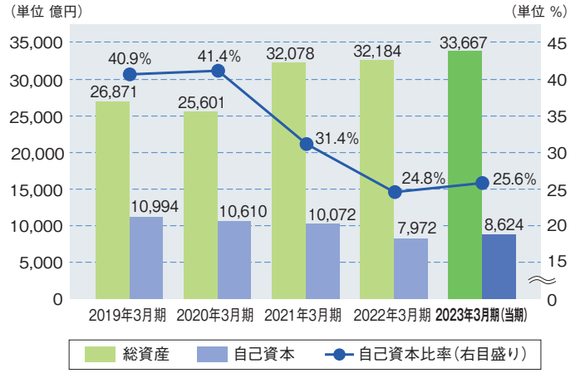
	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 764	4,498	5,262	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,300	△ 2,040	△ 4,340	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	936	△ 1,429	△ 2,365	—
現金及び現金同等物期末残高	6,210	7,264	1,054	17.0
減価償却費	1,575	1,482	△ 92	△ 5.9
Ⓕ設備投資（固定資産のみ）	1,333	1,168	△ 164	△ 12.4

●連結貸借対照表

（単位 億円）

	前期末	当期末	増減
資産の部			
流動資産	12,939	15,508	2,568
現金及び預金	4,526	6,036	1,510
受取手形及び営業未収入金	1,489	1,860	371
有価証券	4,983	5,800	817
貯蔵品	348	356	8
その他	1,591	1,453	△ 138
固定資産	19,228	18,149	△ 1,079
有形固定資産	13,503	12,713	△ 790
建物及び構築物	1,019	921	△ 97
航空機	9,781	9,043	△ 737
土地	443	440	△ 3
建設仮勘定	1,764	1,869	105
その他	494	438	△ 56
無形固定資産	932	878	△ 54
投資その他の資産	4,792	4,557	△ 234
投資有価証券	1,407	1,499	92
繰延税金資産	2,734	2,633	△ 101
その他	650	425	△ 225
繰延資産	16	9	△ 6
Ⓒ資産合計	32,184	33,667	1,482

●総資産、自己資本※2、自己資本比率



	前期末	当期末	増減※5
負債の部			
流動負債	6,878	8,834	1,955
営業未払金	1,250	1,629	379
短期借入金	1,000	921	△ 79
1年内返済予定の長期借入金	627	846	218
1年内償還予定の社債	700	300	△ 400
契約負債	2,560	3,935	1,375
その他	740	1,200	460
固定負債	17,271	16,129	△ 1,141
社債	4,050	3,750	△ 300
長期借入金	11,022	10,175	△ 846
退職給付に係る負債	1,573	1,611	37
その他	625	592	△ 32
Ⓓ負債合計	24,150	24,963	813
（有利子負債残高）※3	(17,501)	(16,079)	(△1,421)
（D/Eレシオ〈倍〉）※4	(2.2)	(1.9)	(△0.3)
純資産の部			
株主資本	7,023	7,944	920
資本金	4,676	4,676	—
資本剰余金	4,073	4,073	—
利益剰余金	△ 1,132	△ 211	921
自己株式	△ 593	△ 593	△ 0
その他の包括利益累計額	948	679	△ 269
その他有価証券評価差額金	323	368	45
繰延ヘッジ損益	721	424	△ 296
その他	△ 95	△ 113	△ 17
非支配株主持分	61	79	18
純資産合計	8,034	8,703	669
Ⓔ（自己資本）※2	(7,972)	(8,624)	(651)
Ⓔ（自己資本比率（%））	(24.8)	(25.6)	(0.8)
負債純資産合計	32,184	33,667	1,482

※2　自己資本は純資産合計から非支配株主持分を控除しています。
※3　有利子負債残高にはオフバランスリース債務は含んでいません。
※4　D/Eレシオ＝有利子負債残高÷自己資本　※5　自己資本比率はポイントです。

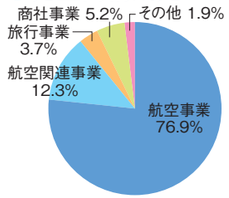
連結対象会社の状況（2023年3月31日現在）
・連結子会社　54社（1社減）
・持分法適用会社　13社（1社減）

セグメント別の概況　2022年4月1日～2023年3月31日

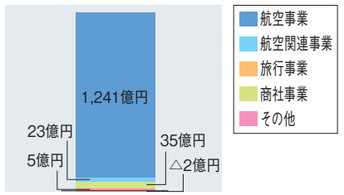
※売上高、営業損益には、セグメント間の内部取引を含んでいます。
※金額、数量は、表示単位未満の端数を切り捨てています。
※前期は2021年4月1日～2022年3月31日、当期は2022年4月1日～2023年3月31日です。
※利用率の増減率(%)は、前期差(ポイント)を示しています。

※決算に関する資料は当社ウェブサイトでもご覧になれます。
https://www.ana.co.jp/group/investors/
ANAホールディングス　株主・投資家情報　検索

●売上高構成比



●営業損益



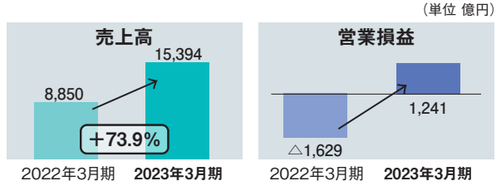
●売上高と営業損益

航空事業

●回復する旅客需要の取り込みと国際線貨物の高単価維持により、大幅に増収。
●事業規模の拡大に伴う運航関連費用の増加をコストマネジメントの徹底等により抑制。
●2022年の定時到着率が、オンタイム・パフォーマンス・アワード※1のネットワーク部門で世界1位に。

※1　航空分野の情報を調査・提供する英国のシリウム社が実施。

(単位 億円)



国際線旅客

●先行して北米ーアジア間の接続需要が回復。9月以降、日本発のビジネス需要、訪日需要を取り込む。
●旅客数がコロナ前の4割に回復。

		前期	当期	増減率(%)
旅客収入	(億円)	701	4,334	517.9
旅客数	(万人)	82	421	410.3
座席キロ※2	(億座キロ)	205	358	74.8
旅客キロ※3	(億人キロ)	55	264	375.8
利用率※4	(%)	27.0	73.6	46.6

国内線旅客

●旅客数がコロナ前の7割まで戻る。全国旅行支援の後押し等でレジャー需要が大幅に回復。
●エンジン改修を終えたボーイング777型機を投入。

		前期	当期	増減率(%)
旅客収入	(億円)	2,798	5,295	89.2
旅客数	(万人)	1,795	3,453	92.3
座席キロ※2	(億座キロ)	342	499	45.5
旅客キロ※3	(億人キロ)	163	322	96.6
利用率※4	(%)	47.8	64.5	16.8

航空事業のその他

●収入※6は1,447億円となり、前期から6.9%増加。

貨物・郵便

●旅客需要の取り込み強化のため、旅客機を使用した貨物専用便の減便等により、国際線貨物は輸送重量が減少。
●大型特殊商材等の高単価貨物の取り込みで収入減を抑制。

国際線貨物・郵便		前期	当期	増減率(%)
貨物・郵便収入	(億円)	3,341	3,143	△ 5.9
貨物・郵便輸送重量	(千トン)	995	821	△ 17.4
貨物・郵便トンキロ※5	(百万tk)	5,273	4,225	△ 19.9
国内線貨物・郵便		**前期**	**当期**	**増減率(%)**
貨物・郵便収入	(億円)	275	270	△ 2.1
貨物・郵便輸送重量	(千トン)	275	278	1.0
貨物・郵便トンキロ※5	(百万tk)	306	306	0.1

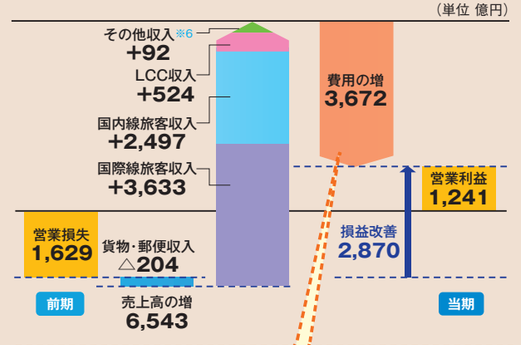
LCC

●国内線は、成田ー新千歳線、成田ー福岡線を増便する等、運航規模を拡大。
●国際線は、一部路線の運航を再開した他、中部ー台北線の新規開設等、ネットワークを拡充。

		前期	当期	増減率(%)
LCC収入	(億円)	378	902	138.7
旅客数	(万人)	426	777	82.2
座席キロ※2	(億座キロ)	78	122	55.6
旅客キロ※3	(億人キロ)	48	89	85.5
利用率※4	(%)	61.6	73.5	11.9

●航空事業の営業損益変動要因(前期との比較)

(単位 億円)



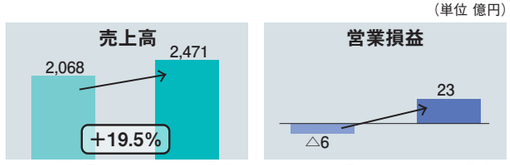
費用増の要因
・燃油費・燃料税 ……1,537億円増加
・空港使用料等の運航連動費用 ……357億円増加
・販売費、機内サービス費、地上サービス費等の収入連動費用 ……383億円増加
・減価償却費、整備費、人件費、外部委託費等 ……1,393億円増加

※2　座席キロ=有効座席数(席)×各区間距離(キロメートル)
※3　旅客キロ=旅客数(人)×各区間距離(キロメートル)
※4　利用率=旅客キロ÷座席キロ
※5　貨物・郵便トンキロ=貨物・郵便輸送重量(トン)×各区間距離(キロメートル)
※6　マイレージ附帯収入、機内販売収入、整備受託収入等。

航空関連事業

●旅客需要の回復に伴い、搭乗受付や手荷物搭載等の空港地上支援業務の受託や機内食関連業務が増加。

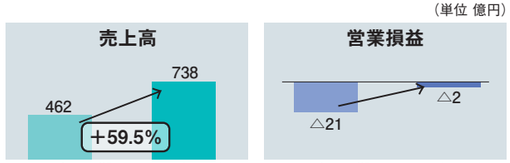
(単位 億円)



旅行事業

●海外旅行は4月にハワイ方面のツアーを2年ぶりに再開。
●国内旅行は全国旅行支援の後押しを受けて、ダイナミックパッケージ商品の取り扱いが増加。
●日常生活にマイルが使えるECモール「ANA Mall」を開店。

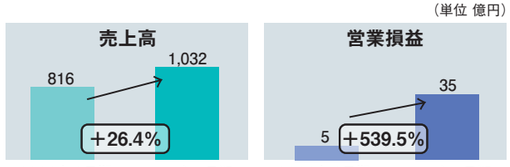
(単位 億円)



商社事業

●旅客需要の回復に伴い、空港物販店「ANA FESTA」や免税店「ANA DUTY FREE SHOP」等で増収。
●半導体市場の好調な需要を受けて、電子事業の取扱高が増加。
●以上の結果、増収となり黒字が拡大。

(単位 億円)

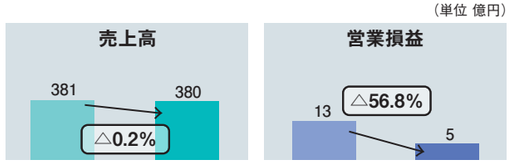


その他※7

●ラウンジ業務や検疫関連審査業務等の受託が増加。
●前期に大型物件の売却があった反動で、不動産関連事業の取扱高が減少。

※7　不動産・ビルメンテナンス、航空保安警備、人材・ビジネスサポート、シンクタンク等の事業で構成。

(単位 億円)



2024年3月期の見通し

※金額は表示単位未満の端数を切り捨てています。

2023～2025年度 ANAグループ中期経営戦略を着実に実行し、新しい経営ビジョン「ワクワクで満たされる世界を」の実現へ

航空事業

- 国際線を中心に機動的にネットワークを回復し、増加する需要を取り込む。
- 新たなブランドとして、AirJapan（エアージャパン）が2024年2月に東南アジアへ就航予定。

■国際線旅客事業（ANAブランド）

- 2024年3月末までに旅客数は、コロナ前の80%程度に回復。
- 高まる渡航需要を取り込むため、積極的に運航便を再開・増便。

■国内線旅客事業（ANAブランド）

- 2024年3月末までに旅客数は、Peachを含めてコロナ前の95%程度に回復。
- ANAとPeachが連携し、最適な運航スケジュールで需要を取り込む。

■貨物・郵便事業（ANAブランド）

- 国際線貨物は旅客便（床下の貨物搭載スペース）の増加や海上輸送の混雑緩和により需給バランスが緩和。
- 貨物専用機を活用し、顧客ニーズに応じた柔軟な運航便を設定。長期・特定顧客を囲い込む。

■LCC事業

- 国内線は関西、成田を中心にレジャー需要・新規需要を開拓。
- 国際線は運航規模拡大。訪日外国人の需要を取り込む。

非航空事業

- 海外旅行はハワイをはじめ、各方面のマーケティングを強化。
- マイルで日常生活を可能にするため、「ANAマイレージクラブアプリ」等の強化や「ANA Pay」のリニューアルを実施。

●2024年3月期 連結業績見通し

（単位 億円）

	前期実績（2023年3月期）	当期の見通し（2024年3月期）	増減
売上高	17,074	19,700	2,625
営業利益	1,200	1,400	199
経常利益	1,118	1,150	31
親会社株主に帰属する当期純利益	894	800	△ 94
1株当たり配当額（円）	—	未定	—

●機材計画

導入予定機材	
機種	機数
ボーイング787-10型機	4
ボーイング787-9型機	4
エアバスA320neo型機	5
合計	13

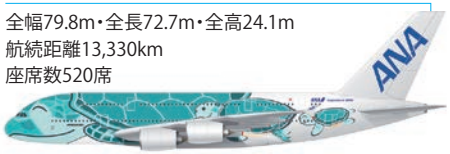
退役予定機材	
機種	機数
エアバスA320-200型機	8
合計	8

ANA's Aircraft 空を演出するフリート

2023年3月31日現在

●エアバスA380（3機）

全幅79.8m・全長72.7m・全高24.1m
航続距離13,330km
座席数520席



●ボーイング777-300（18機）

全幅60.9m（-300ER 64.8m）・全長73.9m・全高18.5m
航続距離3,800km（-300ER 14,900km）
座席数514席（-300ER 212席）

●ボーイング777-200（10機）

全幅60.9m・全長63.7m・全高18.5m
航続距離3,300km/3,800km（-200ER 14,500km）
座席数405席（-200ER 392席/405席）

●ボーイング787-10（3機）

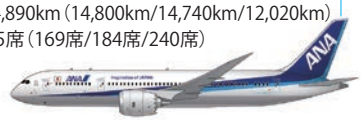
全幅60.1m・全長68.3m・全高17.0m
航続距離11,600km
座席数294席

●ボーイング787-9（40機）

全幅60.1m・全長62.8m・全高17.0m
航続距離10,690km（14,960km/14,200km/10,990km）
座席数395席（215席/246席/375席）

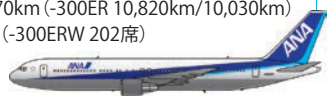
●ボーイング787-8（36機）

全幅60.1m・全長56.7m・全高16.9m
航続距離4,890km（14,800km/14,740km/12,020km）
座席数335席（169席/184席/240席）



●ボーイング767-300（15機）

全幅47.6m（-300ERW 50.9m）・全長54.9m・全高15.9m
航続距離3,370km（-300ER 10,820km/10,030km）
座席数270席（-300ERW 202席）



●エアバスA321ceo（4機）/neo（22機）

全幅35.8m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離3,090km（neo 5,130km）
座席数194席（neo 194席）

●エアバスA320neo（11機）

全幅35.8m・全長37.6m・全高11.8m
航続距離5,790km
座席数146席

●ボーイング737-800（39機）

全幅35.8m・全長39.5m・全高12.5m
航続距離3,900km
座席数166席

●デ・ハビランド・カナダ DASH8-400（24機）

全幅28.4m・全長32.8m・全高8.3m
航続距離2,020km
座席数74席

●ボーイング777F（2機）（貨物専用機）

全幅64.8m・全長63.7m・全高18.6m
航続距離（最大積載時）9,100km

●ボーイング767-300F/300BCF（9機）（貨物専用機）

全幅47.6m（-300F/BCF）/50.9m（-300FW）・
全長54.9m・全高15.9m
航続距離（最大積載時）5,970km（-300F）/
5,750km（-300BCF）/6,180km（-300FW）

Peach

●エアバスA321neoLR（3機）

全幅35.8m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離7,400km
座席数218席

●エアバスA320-200（27機）/neo（10機）

全幅34.1m（neo 35.8m）・全長37.6m・全高11.8m
航続距離6,200km（neo 6,300km）
座席数180席（neo 188席）

ANAグループの航空機 276機

※ほかに、当社が所有および賃借している航空機でグループ外へ賃貸している航空機が18機あります。
※航続距離は最新の性能データによるものです。

「ピカチュウジェット NH」、国際線に就航！

国際線特別塗装機「ピカチュウジェット NH※1」が6月4日、羽田発バンコク行き847便で運航を開始しました。機体には、そらとぶピカチュウをはじめとしたポケモンたちが一緒になって、希望の光へと進んでいく様子が描かれています。ANAグループでは、お客様が空の旅を再開するタイミングで同機とともに、旅の楽しさとワクワクを提供してまいります。

※1 NHは、国際航空運送協会により定められたANAを認識する航空会社コードです。

ピカチュウジェット NH（ボーイング787-9型機）

搭乗記念品―
搭乗証明書（上）、
木札（左下）、
ステッカー（右下）

©Pokémon/Nintendo/Creatures/GAME FREAK.

ANA's Network

2023年7月1日予定

国際線
（旅客便＋貨物便）
※1 ※2 ※3

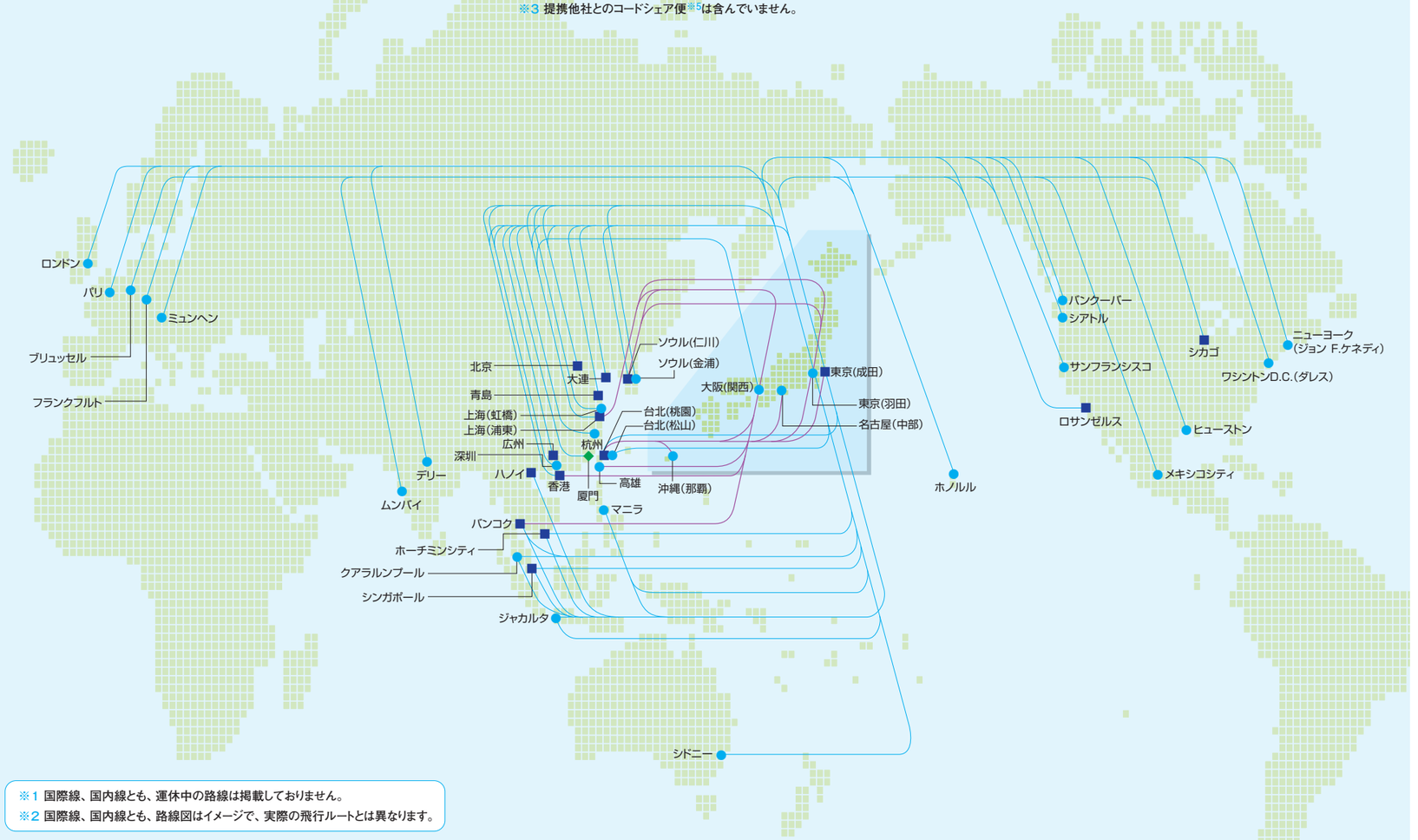
路 線 数　49路線
運航便数　714便／週

●旅客便就航地
■旅客便・貨物便就航地
◆貨物便就航地

ANA　Peach（LCC）

※3 提携他社とのコードシェア便※5は含んでいません。

就航地への運航便は、下記よりお調べいただけます。
旅客便　https://www.ana.co.jp/book-plan/airinfo/
貨物便　https://www.anacargo.jp/ja/



※1 国際線、国内線とも、運休中の路線は掲載しておりません。
※2 国際線、国内線とも、路線図はイメージで、実際の飛行ルートとは異なります。

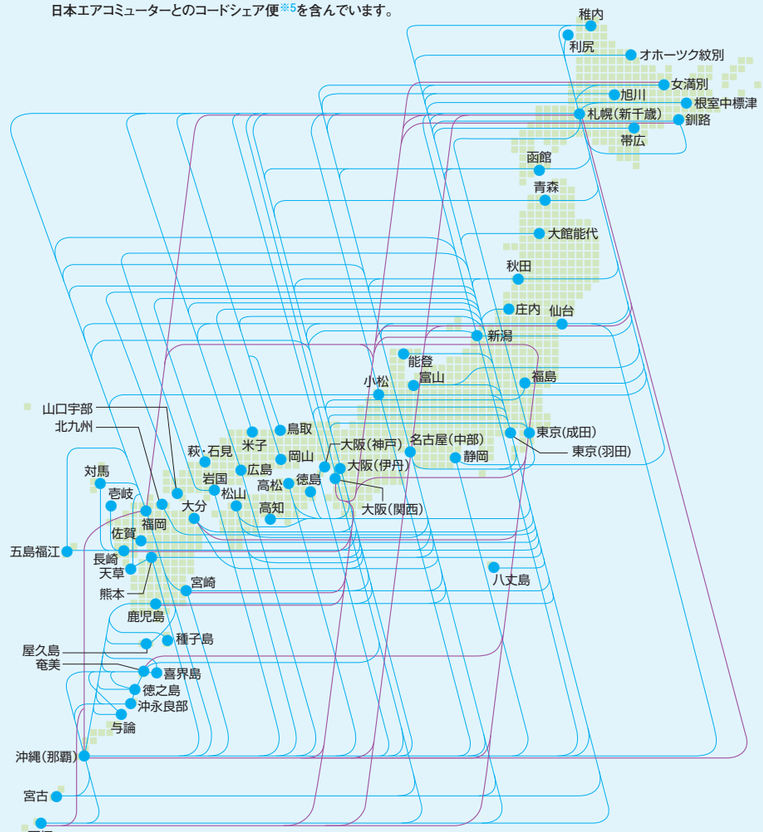
国内線
（旅客便）
※1 ※2 ※4

路 線 数　156路線
運航便数　1,214便／日

●旅客便就航地

ANA　Peach（LCC）

※4 IBEXエアラインズ、エア・ドゥ、ソラシド エア、
スターフライヤー、オリエンタルエアブリッジ、天草エアライン、
日本エアコミューターとのコードシェア便※5を含んでいます。



※5 コードシェア（路線提供）とは、提携会社の運航する便に自社の便名（コード）を付与することで、利便性の高い路線ネットワークを提供するものです。

個々を尊重し、生き生きと働ける企業グループへ
—ANA グループの人財戦略

ANAグループは全従業員が成長し、生き生きと働き、世界中に新たな出会いや、つながりを生み出すことで、企業価値のみならず社会的価値の向上にもつなげていきます。

「人の力」は価値創造の源泉であり、最大の資産です。ANAグループが取り組む人財戦略をご紹介します。

健康経営の推進—4つの重点項目

健康経営®※1を通して従業員の心身の健康を保持・増進し、安全・安心に働ける環境づくりを進め、活力あふれる人財が持続的な企業価値向上を生み出すことを目指しています。

ANAグループでは2016年度に「健康経営宣言」を行い、グループ全体で①健康管理体制の拡充②疾病予防対策の推進③メンタルヘルス対策の推進④労働安全衛生活動の強化—という、4つの重点項目に取り組んできました。

※1 「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

人財の育成とタレントマネジメント

従業員一人ひとりが持っている能力を最大限引き出すとともに、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進など、事業環境の変化に適応した専門領域の人財の育成・確保に努めています。

そして、①従業員のキャリア支援②非航空部門を含む領域別の高度専門人財の育成・確保③デジタル人財の育成④シニア人財の活用—を推進しています。また、人財ポートフォリオの可視化にも取り組み、グループ人財の見える化を進めています。

健康経営銘柄2023に選定

ANAグループの健康経営は高く評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で認定する「健康経営銘柄※2 2023」に選定されました。従業員一人ひとりが心身共に健康であってこそ、生き生きと仕事に取り組むことができ、従業員のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）と企業価値の向上につながるものと考えています。

2023 健康経営銘柄 Health and Productivity

※2：健康経営銘柄とは、東京証券取引所の上場会社の中から、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として認定された銘柄のことです。魅力ある企業として投資家に紹介することを通じ、企業の「健康経営」促進を目指すもので、原則として１業種に１社のみ認定されます。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）の取り組み

大きく変化するグローバル環境において、ANAグループが持続的成長と新しい価値創造をかなえ、より良い社会の実現と豊かな生活に貢献するために、職場のDEIを推進しています。

DEIとは　社会や組織において、個々の多様性を受容し、公正な支援や成長機会を提供することによって、人々が共創・共生する持続可能な環境を目指す取り組み。

要素	意味	内容
ダイバーシティ（Diversity）	多様性	人種、国籍、宗教、文化、年齢、障がいの有無、性別、性的指向・性自認、価値観、経験、働き方など
エクイティ（Equity）	公正性	多様性に応じた支援と公正な成長・チャレンジの機会
インクルージョン（Inclusion）	受容・共生	個々の違いの理解、チームとして支え合う意識

ANAグループのDEIの取り組み

ジェンダー平等

2020年代の可能な限り早期に、女性役員・女性管理職比率を30%以上にする目標を設定しています。意思決定の場における多様性の確保、女性比率の向上を目指し、人事・サポート制度の見直しや能力開発・意識醸成といったアクションを進めています。

LGBTQ+

多様な性に関する基本ポリシーを2022年に策定し、従業員がその性的指向や性自認に関わらず、生き生きと働くことができる環境整備と職場の理解促進に取り組んでいます。

LGBTQ+フレンドリーのシンボルマーク

多様な働き方（両立支援）

育児や介護などとの両立をはじめ、従業員一人ひとりの多様な働き方を支援する制度の整備と職場の意識醸成を進めています。2023年度は「3日間の育児休暇制度」をグループ全体で整備し、対象男性社員の取得率100%を目指してアクションしています（ANA単体の2022年度の取得率は84.2%）。

障がい者雇用の推進

障がい者雇用に関わる行動規範「3万6千人のスタート」を策定し、グループ全体の障がい者雇用に関わる理解促進を図っています。ANAの障がい者雇用率は、2.75%（2022年6月現在）※3であり、グループ各社が法定雇用率を達成（2023年5月現在）しています。

※3：ANA、ANAホールディングスおよびグループ適用認定会社の合算値（障害者雇用促進法に基づいて算出）。

社外からの評価

ANAグループの取り組みは、さまざまな組織・機関から高い評価をいただいております。

女性が活躍しています！

厚生労働省主催「えるぼし認定」で最高位の三つ星取得

プラチナくるみん 子育てサポートしています

厚生労働大臣より2020年、優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん」認定

work with Pride Gold 2022

任意団体ワーク・ウィズ・プラウドの「PRIDE指標2022」で「ゴールド」を受賞（7年連続）

ANAの株主優待サービス

ご利用方法や国内線ご搭乗優待の配布枚数は、こちらからご覧ください。
ANAホールディングス 検索 → 株主・投資家情報 → 株式情報 → 株主優待のご案内

ANAホールディングス株式会社では、ご所有株式数に応じて、「国内線ご搭乗優待」「ANAグループ優待券」の株主優待サービスを実施しております。

株主優待発行基準について

発行基準日	発送時期	国内線ご搭乗優待	ANAグループご優待
3月31日	5月中旬	株主優待番号ご案内書 有効期間6/1～翌年5/31	ANAグループ優待券上期分 有効期間6/1～11/30
9月30日	11月中旬	株主優待番号ご案内書 有効期間12/1～翌年11/30	ANAグループ優待券下期分 有効期間12/1～翌年5/31

●2023年11月中旬発送分は、2023年9月27日（水）が権利付最終日となります。

国内線ご搭乗優待

100株以上ご所有の株主様に、ANAの国内線全路線でご利用になれる**株主優待番号ご案内書**を**ご所有株式数に応じて**発行いたします。

ご案内書記載の株主優待番号1つにつき、ANAの国内線全路線の片道1区間が、「株主優待割引運賃」（ANA FLEX-D運賃の50%割引、小児※1の場合は小児運賃の50%割引）でご利用になれます。

●ご予約・空席状況・運賃等に関しては、ANA国内線予約・案内センターまたは、ANAウェブサイトにてご照会ください。

※1　搭乗日の年齢が満3～11歳のお子様が対象です。

ANAグループ優待券（共通）

100株以上ご所有の株主様に、ANAグループ優待券を、**お1人様に1冊**発行いたします。※2

■IHG・ANA・ホテルズグループジャパンのご優待

●ご宿泊料金（ベストフレキシブル料金〈室料のみ〉※3の20%割引券）

●レストラン・バーご飲食代※4（10%割引券）

※3　ご予約日やご滞在の日程によって料金が変動する、おトクな宿泊料金です。

※4　ホテルにより割引の対象外となる店舗・メニューがございます。詳しくは、各ホテルへお問い合わせください。

■空港内売店・免税店のご優待（10%割引券）

ANA FESTA

ANA DUTY FREE SHOP

■株主様限定 通信販売※5

●詳しくは、2023年上期分の「ANAグループ優待券」をご覧ください。
株主様専用サイトでもお申し込みいただけるようになりました。

※5　マイル積算の対象となります。マイルでのお支払いはできません（送料を除く）。

■ゴルフプレー料金のご優待

●「武蔵の杜（もり）カントリークラブ」（埼玉）（割引券）

●「早来（はやきた）カントリー倶楽部」（北海道）（割引券）

武蔵の杜カントリークラブ

■国内・海外旅行パッケージツアー商品のご優待※6、※7

ANA Traveler's

国内ツアー

●「ANAトラベラーズ国内ダイナミックパッケージ」のお支払いにご利用いただけるクーポン（1,000～7,500円分）

海外ツアー

●「ANAトラベラーズ海外ダイナミックパッケージ」のお支払いにご利用いただけるクーポン（1,000～30,000円分）

株主様限定ツアー・専用プラン※8

●株主様だけにご案内する季節や旬・希少性にこだわったツアー

※6　一部のパッケージツアー商品は、基本旅行代金から5%割引です。

※7　対象外の商品もございます。

※8　ご優待割引はご利用いただけません。

※2　ここに記載した「ANAグループ優待券」の内容は2023年上期分のものであり、今後変更になることがございます。

株主様限定
プライベートジェット・ツアーのご案内

プライベートジェットで行く自分だけの空の旅

旅の始まりから終わりまで、他人に気兼ねせず自由にふるまえる本当のプライベートな旅をご提案します。
一生の記念としてご検討ください。

天空の森

カタマランヨット

Citation M2型機（4人乗り）　写真提供：岡山航空株式会社

Citation M2型機（4人乗り）

ペットも一緒に

※写真はイメージです。
※ペットはケージに入れてご搭乗いただきます。

プライベートジェットの旅はオーダーメイド※1です。

1. ご旅行期間（出発日から到着日まで）、出発地、目的地、ご参加人数（1機当たり6名様まで）などのご希望をお知らせください。
2. 「機体チャーター料金」は、ご利用人数（定員内）による変動は原則としてありません。
3. 「地上費用」は、宿泊費（朝食付き※2）および、現地空港と宿泊施設間の送迎費用です。
4. お申し込み成立後のキャンセル、予定変更につきましては、規定のキャンセル料等を申し受けます。

株主様特典として、ご旅行後に「ANA's フレッシュセレクション」または「ANAファーストクラスで採用されたワイン」を代表者様へお送りいたします。

ご希望の空の旅をご相談いただけます※3。下の表は、プライベートジェット※4を利用した旅の例（羽田空港発着※5）です。

例	旅のポイント	行程	利用空港 / お薦め宿泊施設※6	機体チャーター料金※8（概算、税込み）			1名様当たりの地上費用※8（概算、宿泊費と現地空港送迎費、税込み）		
				4人乗り※7	6人乗り※7		2名様で参加	4名様で参加	6名様で参加
A	**大切な人と南霧島の自然に溶け込む** プライベートな空間を楽しめるvillaで、大切な人と過ごすオリジナルな旅をご提案します。愛犬も同伴できます。	2泊3日	鹿児島空港 / 天空の森	600万円	690万円	＋	86万円	81万円	80万円
							愛犬は1匹3万円/泊（別途）		
B	**カタマランヨットで巡る瀬戸内のアート** 専属シェフを乗せたヨットで、犬島、直島、豊島の美術館を巡ります。 https://www.infinitymugen.com/index.html	2泊3日	岡山空港 （または高松空港）/ ベネッセハウス、 UNO HOTEL	530万円	560万円	＋	157万円	101万円	72万円
C	**日本列島の空を南から北へクルージング** 南（奄美）へ、日本海側を北上し北陸（富山または福井）、北海道（函館）へ、日本列島の周遊を楽しむ空の旅です。	3泊4日	奄美空港 / THE SCENE （または Les Bleu AMAMI） 富山空港 / 雅楽荘 （または福井空港※9 / 望洋楼） 函館空港 / NIPPONIA HOTEL	960万円※10	1,050万円※10	＋	82万円	68万円	64万円

※1 受注型企画旅行です。※2 Bは全食（2朝食、2昼食、2夕食）付きです。※3 当ツアーは、2024年3月末までのご出発を想定してご案内しております。※4 ANAグループの提携運航会社の機材（乗員）をチャーターして運航します。ANAグループでは該当する機材の運航は行っておりません。※5 羽田空港以外からのご出発もご相談いただけます。※6 お薦め宿泊施設は一例です。時期等により手配が難しい場合があります。※7 ペットはご相談ください。※8 機体チャーター料金および地上費用は、2023年9月1日出発の場合の見積り額です(2023年6月1日現在)。ご参加人数、時期等により変動する場合があります。※9 福井空港は4人乗りプライベートジェットのみ利用可能です。※10 羽田ー鹿児島（給油）ー奄美ー鹿児島（給油）ー富山（または福井）ー函館ー羽田を飛行する場合の概算料金です。

株主様専用デスク※11、※12、※13
ANA あきんど株式会社

専用メールアドレス　ryoko.sodan@ana-akindo.co.jp
専用ダイヤル　070-4874-6300（有料）　受付時間：平日 11：00～15：00、土・日・祝 休※14

※11 お問い合わせ・ご相談は、メールまたは電話で承ります。※12 受付期間は2023年6月29日（木）～8月31日（木）です。
※13 お問い合わせの内容によっては、回答までにお時間を頂く場合があります。※14 受付時間以外は留守番電話での対応はしておりません。

本誌における記述は2023年6月5日現在入手可能な情報を基に作成しておりますので、今後内容が変更になる場合があります。

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
■定時株主総会	毎年4月1日から3カ月以内に開催
■基準日	定時株主総会権利行使確定日　毎年3月31日 期末配当金受領確定日　毎年3月31日 ※中間配当金制度は採用しておりません。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 株主優待割当確定日　毎年3月31日および9月30日
■単元株式数	100株
■公告の方法	当社のウェブサイトに掲載します。 ANAホールディングス　検索 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。
■証券コード	9202（東証プライム市場）

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 **三井住友信託銀行株式会社**
■株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 **三井住友信託銀行株式会社証券代行部**
■郵便物送付先	**〒168-0063** **東京都杉並区和泉二丁目8番4号** **三井住友信託銀行株式会社** **証券代行部**
■電話照会先（通話料無料）	0120-782-031 （平日9:00～17:00／土・日・祝・12/31～1/3休）
■三井住友信託銀行ウェブサイト	三井住友信託銀行証券代行部　検索

［株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会］
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用になっていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

「株主優待割引運賃のオンラインチェックイン」のご案内

1 ANAウェブサイト、ANA国内線予約・案内センター等で航空券（株主優待割引運賃）をご予約・ご購入し、座席指定をお済ませの後、

2 株主優待番号と登録用パスワードをご登録いただき、

3 便出発時刻の24時間前から20分前までにオンラインチェックインを利用して搭乗券を発行してください。

ANAホールディングス株式会社　https://www.ana.co.jp/group/　ANAホールディングス　検索
グループ総務部 株式チーム
〒105-7140　東京都港区東新橋一丁目5番2号　汐留シティセンター
電話 03-6748-1001　受付時間　平日 10:00～12:00・13:00～17:00（土・日・祝・12/29～1/3・5/1 休）

VEGETABLE OIL INK